⑤学生の受入れ募集 新聞掲載記事

水戸黄門漫遊マラソンポスター

第7回水戸黄門漫遊マラソンのポスター制作に27名の学生が取り組みました。 水戸黄門漫遊マラソンについて調べることから、ランナー、ボランティア、運営など 関わる方の想いを考え、写真やイラストなどの表現でデザインしました。

実際に採用されたデザイン



プレゼンテーションの様子





水戸市役所にて学生作品展示の様子









茨城県芸術祭美術展覧会

茨城県が主催する茨城県芸術祭は、7つの種目に分かれ、優れた芸術文化活動の成果を発表・展示する県内各地域で開催している展覧会です。 日頃の学習成果を思う存分発揮し、個性あふれる作品を制作しています。

2021.10.14 茨城新聞



優賞

広告プロモーションデザイン学科3年 青木 栄恵 「浄」

奨 励 賞

広告プロモーションデザイン学科3年 昆野 彩希 「健全

「健全な酒狂い」

広告プロモーションデザイン学科3年 金子 真夕

「祈りと代償」

「Venus」

広告プロモーションデザイン学科3年 堀江 颯太

ほしいも列車王国 車両ラッピング・公式キャラクター

茨城県ひたちなか海浜鉄道が公募した「ほしいも列車王国」ラッピング車両と公式キャラクター のデザインに本校学生の案が採用されました。

2021年10月16日にお披露目会が行われ、ひたちなか海浜鉄道から賞状を頂きました。

2021.10.21 茨城新聞



表彰式の様子





運行列車の様子







広告プロモーションデザイン学科1・2年 修了制作2022

阿字ヶ浦プロモーションキャラクターの提案

ひたちなか市阿字ヶ浦の魅力発信に繋がるキャラクターを制作しました。 キャラクターだけでなく、ネーミングや考えたキャラクターを使用したツールを考え、 実践的にデザイン制作を学びました。











イバフォルニア・プロジェクト賞 1年 花井 大樹

阿字ヶ浦の魅力を伝えるプロモーション企画

ひたちなか市を代表する阿字ヶ浦海岸の魅力を伝える紙媒体での広告物と広報グッズ

の制作を行いました。取材を通し、地域経済や地域コミュニティについて理解し、学

生らしい発想で阿字ヶ浦のPRに繋がる提案を考え、高度なデザイン表現を学びました。



一年次最優秀作品賞 1年 北山 彩也香

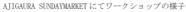


イバフォルニア・プロジェクト賞・二年次最優秀作品賞

















広告プロモーションデザイン学科3年 修了制作2022

常陸大宮市交流のGatewayプロジェクト〜シティプロモーションの提案〜

常陸大宮市は、地域資源をいかした情報発信の場や中心市街地の活性化など賑わい創出 に向けた計画を進めています。そこで、常陸大宮市の風土をいかし魅力をPRし、地域の 拠点となるような提案を行いました。

2021.7.1 茨城新聞



2022.2.26 茨城新聞





常陸大宮市長賞 【セールスプロモーションゼミ】 3年 大泉 衿子、大関 由莉伽、 山田 未来







茨城デザイン振興協議会会長賞 【グラフィックデザイン実践ゼミ】 3年 青木 栄恵





常陸大宮市プレゼンテーションの様子







常陸大宮市社会実験ワークショップの様子







建築設計デザイン学科1・2年 修了制作2022

常陸大宮市交流のGatewayプロジェクト~住まいの提案~

常陸大宮市は駅周辺整備計画を策定し、地域資源をいかした情報発信の場や中心市街地の活性化に向けた計画を進めている。そこで、常陸大宮市にて子育てを行う家族に向けた、住みやすい街を目指した子育て応援住宅を計画しました。

一年次最優秀作品賞 1年 戸田 美優





模型











常陸大宮市交流のGatewayプロジェクト〜ショップの提案〜

駅を中心に東西駅前広場、駅へのアクセス道路などの整備や駅周辺と行政施設の連携強化に向けた整備を進めています。そこで、常陸大宮市の風土をいかし、2025年完成予定の新駅舎東口の顔となるようなショップを計画しました。

二年次最優秀作品賞 2年 羽根坂 知佳



模型











インテリア&家具クラフト学科3年 修了制作2022

常陸大宮市交流のGatewayプロジェクト〜魅力発信施設の提案〜

常陸大宮市は魅力発信の場や中心市街地の活性化など賑わい創出に向けた計画を 立てています。そこで、常陸大宮駅東口現道南側拡幅案に合わせて、常陸大宮市 の風土をいかした空間演出を考えた商業施設若しくは交流施設を計画しました。

常陸大宮市長賞 3年 大塚 千里



模型







意見交換ワークショップの様子





コンクリートプランター制作

茨城県コンクリート製品協同組合の協力のもと、廃棄されるコンクリートを再利用し プランターの制作を行いました。学生はデザインを考える所から始まり、プランター の制作まで行いました。校内のグリーンインテリアショップで販売をしています。

2022. 2. 21 茨城新聞



キリルナスプランカーブボイン O.F. 羽担に 知け





ファッションコーデショップ開店

水戸駅南口にある水戸オーパ5Fにて提案型のショップを計画・運営しました。 3年生はショップ空間の提案はもちろん、期間限定ショップのPRのため、ブランドイメージブックの制作やイベント運営も行いました。

1年生はリユース衣料を使用したファッションコーディネートの提案を行いました。 コーディネートした商品は、運営するショップにてディスプレイ・販売まで行いました。

2022.2.10 茨城新聞



地域活性化、学生ら提案

水戸の専門学校

学科は、「及常經大宮駅 辺の活性化について機実 であれなどを発表した。 また、ファッション間 を対するが表示を を対するがで、リユース部 の学科は、女子高校生を の学科は、女子高校生を の学科は、女子高校生を の学科は、女子高校生を のコーデンタッフを必用 体子和作展の会期中、」。 体子和作展の会期中、」。 体子和作展の会期中、」。 体子和作展の会別中、実際に コップを選供している。 体子和作展の会別中、」。 なられないようなアイデュ を向しい。と話していた 1年次最優秀作品賞 1年 薄井 柚香









3年次最優秀作品賞

3年 塙 里菜

店舗名:FFIND 場所:水戸オーパ5F アートシティホール













地下無人店舗デザイン提案

本校校舎地下に出来た空きスペースを利用したショップデザインの提案を行いました。 店舗デザインはもちろん、商品制作やディスプレイまで学生がプロデュースし、2021年 10月3日にオープン致しました。コロナ禍の中、変わりゆくアパレル業界に合わせた無人 店舗として、多くのお客様が来店されるショップとなっております。

店舗制作の様子









地下店舗「glows」









2021.10.5 朝日新聞

学生が古着や家具リメイク 水戸の専門学校にショップ STYLERY PENDAPTHIZ CT



日田中イヤー開発した8日十株人会 ANT FELINE (PERMIT) THE TALL PRESENTERS などを学生がリタイクして製肉す D. SDG # 788的位据在研究区 間 を発露し、保持は2000人又を依

しき寄から極めを受けた力能な必要、の表現可能を参加し、保険からイエ 製造なアインとは、他人だったが、これを取り回れた。 形式カートが発表・アンティータの、コウナイで開発を取りるため、単 1寸は異なた部を取り換えたの、サービュはマイのでのネットとして表 CHENTALLYCHILLESS IN MICUL MERKERS THREE 福祉では、たコンクリートを祀った、前外のリタイク外側の長者の第三人 域大体もから

STREET, STREET



SECTION OF THE PROPERTY OF THE SECTION OF THE SECTI

THROW BARENDESSING

取り組入された。まだ紙ともをきつ 推動性的と年前1日一千里上店。 ・1日・1000 中。 (古書書一)

2021.10.3 茨城新聞



ファッションショー

ファッションビジネス学科の2年生、3年生が連携し、企画から衣装の制作、演出まで手掛けたファッションショーを行いました。衣装は、学生一人一人がデザインから縫製まで、全て一人で行っております。今年は水戸駅南口にある水戸オーパにて「ミト・エンタメ・デモ」と題し、ご当地アイドルや子供たちのダンスと一緒にイベントを盛り上げました。



当日のイベントの様子















